

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		ご家族様からのアンケートより ・言葉遣い(チャン付け・おじいちゃん・おばあちゃん) ・居室掃除(ほこり)	・チャンづけ・おじいちゃん・おばあちゃんは言わない。 ・ホームはいつも清潔にする。	・職員同士注意し合い気をつけていく。 ・毎日の清掃と居室担当者の確認強化。	1ヶ月
2	33	終末期を迎えるにあたっての方針の意向はご家族との話し合いにより確認させていただいているが、書面での意思確認が必要。	ホームとしての看取り指針と同意書の作成。また必要に応じご家族への説明と同意書をいただく。	既に看取り指針と同意書は作成済み。ケアプラン説明時・面会時を利用しご家族様への説明と必要時 同意書をお願いしていく。	12ヶ月
3	49	介護度①から⑤までの利用者様に決まった方の外出支援となっている。またその機会も減っている。	出来る限り多くの利用者様の外出支援と、回数を増やしていく。	ボランティアやご家族様の協力をいただきながらの外出支援。 外食可能な利用者様には外食支援を行ってきたい。	12ヶ月
4	4	運営推進会議へのご家族様の参加がない。	1回の開催に1家族様でも出席していただく。	時間や曜日の検討をする。 常にご家族様への声かけをしていく。(シェリー通信等で)	12ヶ月
5	35	災害時の地域の方々との協力体制への準備ができていない。	常の地域の方々との交流により、災害時での協力体制を築く。	ホームを開放的にし、いつでも地域の方々に来訪していただく。ホームの行事等への参加を声かけし、信頼関係を築いていきたい。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。